

Q16_10：1歳6カ月児健診で子どもの発達や心理的問題に関するスクリーニングをしていますか。

1. はい 2. 健診担当医に任せている 3. いいえ

→ Q16_10_1：スクリーニングの方法について該当するものすべてに○を付けてください。
アンケートの白紙のサンプルを返信にご同封いただきたく存じます。

1. 独自のスクリーニング用アンケートを使用している
2. 他機関で利用しているアンケートを転用している
3. 従来から使用している子どもの発達などに関するアンケートの項目を活用
4. 市販のツールを利用している（デンバーⅡなど）（名称：_____）
5. 問診の中で聞き取っている
6. その他（_____）

Q16_11：発達障害児の早期発見のための対策は立てていますか（該当するもの一つに○）。

1. 質問紙を用いてスクリーニングしている（白紙のサンプルを同封してください）
2. 健診時の問診や行動観察で見分けている
3. 発達障害の疑いのある児のための特別な健診を用意している（発達相談など）
4. とくに対策は立てていない
5. 検討中である
6. その他の対策（_____）

Q16_12：食育の視点を加えた生活指導や栄養指導をしていますか。

1. はい 2. わからない 3. いいえ

→ Q16_12_1：主な担当者は誰ですか（該当するもの一つに○）。

1. 栄養士 2. 保健師 3. その他（_____）



3歳児健診

Q17: 3歳児健診における対象の把握はどのようにしておられますか(該当する主なもの一つに○)。

1. 住民基本台帳から
2. 別途作成した児童台帳
3. 健診個人ファイル(健診カード)から
4. その他()

Q18: 3歳児健診の実施方法についてお教えてください(該当するもの一つに○)。

1. 集団
2. 個別委託
3. その他()

▶ Q18_1: 3歳児健診を担当する医師(歯科健診は別)の確保はどのようにしてしていますか(該当するものすべてに○)。

1. 地域医師会に一任
2. 独自に確保している
3. 医療機関や医学系大学と提携
4. 当該自治体に勤務する医師
5. その他()

▶ Q18_2: 3歳児健診を担当する医師の診療科(歯科健診は別)はどのように決めていますか(該当するもの一つに○)。

1. 医師会に一任している
2. 小児科医に決めている
3. 内科/小児科標榜医に決めている
4. 診療科は問わない

▶ Q18_3: 3歳児健診担当医と他のスタッフとの連携について該当する主なもの一つに○を付けてください。

1. 連携は全くなし
2. 保健師がコーディネートしている
3. ケースカンファレンスに同席してもらう
4. その他()

▶ Q18_4: 健診担当医師と保健師以外の3歳児健診に従事する専門スタッフを教えてください(該当するものすべてに○)(歯科健診は別)。

1. 保育士
2. 栄養士
3. 心理士
4. 精神科医師
5. 看護師
6. 助産師
7. その他()

▶ Q18_5: 3歳児健診(歯科健診は別)の内容について(該当するものすべてに○)。

1. 問診
2. 小児科診察
3. 集団指導
4. 個別相談
5. 心理相談(全員)
6. 心理相談(必要なケース)
7. 栄養相談(食育)
8. 必要に応じて精神科医師の面談
9. グループワーク
10. その他()

▶ Q18_6: 3歳児健診の重点目標を何にしていますか(該当するものすべてに○)。

1. 疾病の早期発見
2. 育児不安の発見と軽減
3. 虐待の早期発見
4. 親同士の交流
5. 健康教育
6. 発達の評価
7. 栄養指導(食育)
8. 予防接種指導
9. 歯科保健
10. グループ活動への参加勧奨
11. 発達障害の発見
12. 親子の関係性の評価
13. 父親の育児への参加

Q18_6でとくに力を入れている取り組みがあれば教えてください(資料添付でも結構です)。

Q18_7：平成16年度の3歳児健診の実施回数と1回の受診数の平均を教えてください。
(集団方式の場合のみ)

- 1) 健診の実施回数は年 () 回
2) 1回の平均受診数は () 人

Q18_8：3歳児健診で育児不安に関するスクリーニングをしていますか。

1. はい 2. いいえ

→ Q18_8_1：スクリーニングの方法について該当するものすべてに○を付けてください。
アンケートの白紙のサンプルを返信にご同封いただきたく存じます。

1. 独自に作成したアンケート
2. 他機関で利用しているアンケートの転用
3. 従来から使用している子どもの発達などに関するアンケートの項目を活用
4. 市販のツール(愛研式など)を利用している (名称: _____)
5. 問診の中で聞き取っている
6. その他具体的に ()

Q18_9：3歳児健診で親子関係に関するスクリーニングをしていますか。

1. はい 2. いいえ

→ Q18_9_1：スクリーニングの方法について該当するものすべてに○を付けてください。
アンケートの白紙のサンプルを返信にご同封いただきたく存じます。

1. 独自の育児不安のスクリーニング用アンケートの中に項目を含めている
2. 親子関係に関する独自のアンケートを作成している
3. 他機関で利用しているアンケートを転用している
4. 市販のツール(愛研式など)を利用している (名称: _____)
5. 従来から使用している子どもの発達などに関するアンケートの項目を活用
6. 問診の中で聞き取っている
7. その他 ()

Q18_10：3歳児健診で子どもの発達や心理的問題に関するスクリーニングをしていますか。

1. はい 2. 健診担当医に任せている 3. いいえ

→Q18_10_1：スクリーニングの方法について該当するものすべてに○を付けてください。
アンケートの白紙のサンプルを返信にご同封いただきたく存じます。

1. 独自のスクリーニング用アンケートを使用している
2. 他機関で利用しているアンケートを転用している
3. 従来から使用している子どもの発達などに関するアンケートの項目を活用
4. 市販のツール（デンバーⅡなど）を利用している（名称：_____）
5. 問診の中で聞き取っている
6. その他（_____）

Q18_11：食育の視点を加えた生活指導や栄養指導をしていますか。

1. はい 2. わからない 3. いいえ

→Q18_11_1：主な担当者は誰ですか（該当するもの一つに○）。

1. 栄養士 2. 保健師 3. その他（_____）

Q18_12：発達障害児の早期発見のための対策は立てていますか（該当するもの一つに○）。

1. 質問紙を用いてスクリーニングしている（白紙のサンプルを同封してください）
2. 健診時の問診や行動観察で見分けている
3. 発達障害の疑いのある児のための特別な健診を用意している（発達相談など）。
4. とくに対策は立てていない
5. 検討中である
6. その他の対策（_____）

Q19：3歳児聴覚健診を実施していますか。

1. はい 2. いいえ

→Q19_1：実施方法を教えてください（該当するものすべてに○）。

1. 聴覚に関するアンケート調査による一次スクリーニングのみ
2. 聴覚に関するアンケート調査と「指こすり」や「ささやき声」検査などの組み合わせ
3. 耳鼻科医の診察
4. その他（_____）

Q19_2：平成16年度有所見率（スクリーニング陽性率）は（_____）%

Q20：3歳児視覚健診を実施していますか。

1. はい
2. いいえ

→ Q20_1：実施方法を教えてください（該当するものすべてに○）。

1. 視力に関するアンケート調査とランドルト環による視力検査
2. 視力に関するアンケート調査と絵視表による視力検査
3. 視能訓練士による視力検査
4. その他（ ）

Q20_2：平成16年度有所見率（スクリーニング陽性率）は（ ）%

歯科健診

Q21：1歳6カ月児歯科健診についてお訊ねします。

Q21_1：歯科健診の方式は（該当するもの一つに○）。

1. 1歳6カ月児健診と同日に実施
2. 委託方式で実施
3. その他の時期（ ）

Q21_2：歯科医師の確保について（該当するもの一つに○）。

1. 地域歯科医師会に一任
2. 独自に確保している
3. 歯科医療機関や歯科系大学と提携
4. その他（ ）

Q21_3：集団健診の場合、歯科衛生士は健診に参加していますか。

1. 参加している
2. 参加していない

Q22：3歳児歯科健診についてお訊ねします。

Q22_1：歯科健診の方式は（該当するもの一つに○）。

1. 3歳児健診と同日に実施
2. 委託方式で実施
3. その他の時期（ ）

Q22_2：歯科医師の確保について（該当するもの一つに○）。

1. 地域歯科医師会に一任
2. 独自に確保している
3. 歯科医療機関や歯科系大学と提携
4. その他（ ）

Q22_3：集団健診の場合、歯科衛生士は健診に参加していますか。

1. 参加している
2. 参加していない

健診事後体制

Q23：健診事後措置についてお教えてください（業務統計等資料の添付でも結構です）。

Q23_1：乳児健診（3～4カ月児）についてお教えてください（平成16年度データ）

1. 健診受診者の年間総数（ ）人／健診対象者数（ ）人
2. 事後措置として経過観察健診を勧奨した数は年間（ ）人
うち、実際に経過観察健診を受診した数は年間（ ）人
3. 精密健診票を発行した数は年間（ ）人
4. 医療機関を紹介した数は年間（ ）人

Q23_2：1歳6カ月児健診についてお教えてください（平成16年度データ）

1. 健診受診者の年間総数（ ）人／健診対象者数（ ）人
2. 事後措置として経過観察健診を勧奨した数は年間（ ）人
うち、実際に経過観察健診を受診した数は年間（ ）人
3. 精密健診票を発行した数は年間（ ）人
4. 医療機関を紹介した数は年間（ ）人

Q23_3：3歳児健診についてお教えてください（平成16年度データ）

1. 健診受診者の年間総数（ ）人／健診対象者数（ ）人
2. 事後措置として経過観察健診を勧奨した数は年間（ ）人
うち、実際に経過観察健診を受診した数は年間（ ）人
3. 精密健診票を発行した数は年間（ ）人
4. 医療機関を紹介した数は年間（ ）人

Q24：経過観察健診を実施していますか

1. はい
2. いいえ

→ Q24_1：実施回数はどのくらいですか（該当するもの一つに○）。

1. 週1回
2. 隔週1回
3. 1カ月に1回
4. 2カ月に1回
5. 3カ月に1回
6. その他（ ）

→ Q24_2：1回の受診数はどのくらいですか。平均（ ）人

→ Q24_3：スタッフの体制について（該当するものすべてに○）。

1. 小児科医師
2. 保健師
3. 心理士
4. 栄養士
5. その他の専門医（ ）
6. その他（ ）

Q25：親子の心理的問題に対する継続した心理相談（クリニック）を実施していますか。

1. はい 2. いいえ

- Q25_1：実施回数ほどのくらいですか（該当するもの一つに○）。
1. 週1回 2. 隔週1回 3. 1カ月に1回 4. 2カ月に1回
5. 3カ月に1回 6. その他（ ）
- Q25_2：1回の受診数ほどのくらいですか。 平均（ ）人
- Q25_3：スタッフの体制について、該当するものすべてに○を付けてください。
1. 心理士が対応 2. 保健師が対応
3. 必要に応じて精神科医師が対応
4. その他（ ）

Q26：育児不安や育児に問題を抱えた親に対する継続した支援をしていますか。

1. はい 2. いいえ

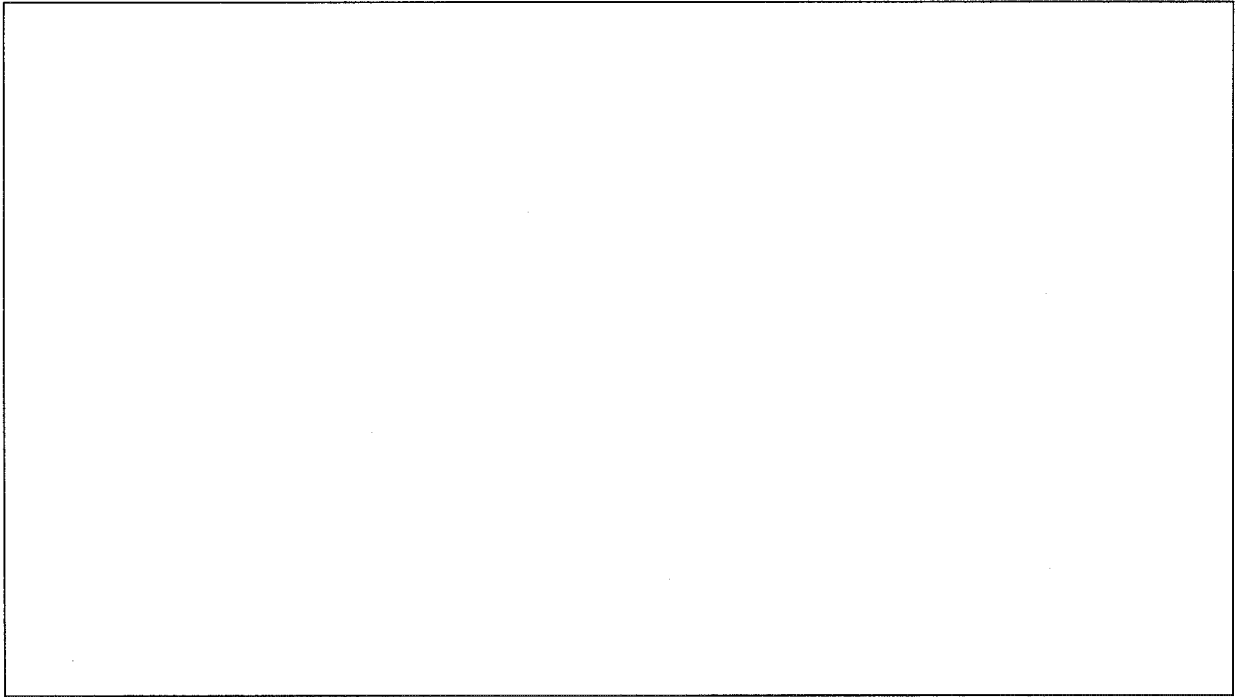
- Q26_1：実施内容について教えてください（該当するものすべてに○）。
1. 育児教室（集団指導）
2. 子育てグループや子育てひろ場など親子交流の場
3. 障害のある子どもと親の交流の場（グループワーク）
4. 不安を抱えた親を対象としたグループワーク（ピアカウンセリングを含む）
5. 精神科医師や児童精神科医師による定期的相談
6. 療育に関する定期的相談
7. その他（ ）

Q27：発達障害が疑われる子どもに対する継続した発達相談を実施していますか。

1. はい 2. いいえ

- Q27_1：実施回数ほどのくらいですか（該当するもの一つに○）。
1. 週1回 2. 隔週1回 3. 1カ月に1回 4. 2カ月に1回
5. 3カ月に1回 6. その他（ ）
- Q27_2：1回の受診者数ほどのくらいですか。 平均（ ）人
- Q27_3：担当するスタッフについて、該当するものすべてに○を付けてください。
1. 一般小児科医 2. 小児神経専門医 3. 児童精神科医
4. 心理士 5. 保健師 6. 保育士
7. その他（ ）

Q27_4：発達障害の早期発見とその後の対応に関する取り組みをしておられましたらご紹介ください。(リーフレットや事業報告でも結構です。ご同封ください)



予防接種について

Q31：貴市区町村または管内地域の予防接種率について把握はしておられますか（該当するもの一つに○）。

1. 把握できている 2. 一部のみ把握 3. 全くわからない

Q31_2：BCG 接種は集団ですか、個別ですか（該当するもの一つに○）。

1. 集団 2. 個別

→ Q31_2_1：接種の時期はいつですか（該当するもの一つに○）。

1. 乳児健診とセットで実施 2. BCG のみを集団で実施

地域の虐待防止ネットワーク（あるいは要保護児童対策地域協議会）

Q32：貴市区町村には虐待防止ネットワークが組織されていますか（該当するもの一つに○）。

1. はい 2. 立ち上げ準備中 3. いいえ

Q33：貴市区町村では虐待防止のための庁内組織の連携体制がありますか（該当するもの一つに○）。

1. はい 2. 調整中 3. 全くない

→ Q33_1：運営の中心はどこでしょうか（該当するもの一つに○）。

1. 保健部門を中心に運営 2. 福祉部門を中心に運営
3. 保健・福祉部門が統合して運営 4. 担当部署を新たに設置
5. その他（ ）

健診に関するその他の事項

Q34：健診の精度管理のためのシステムが構築されていますか（該当するもの一つに○）。

1. はい 2. 検討中 3. 全くない

→ Q34_1：それはどんなシステムですか（該当するものすべてに○）。

1. 健診担当医も参加した定期的なミーティング
2. 医師会との定期的なミーティング
3. 所内スタッフによる定期的ミーティング
4. 精度管理委員会を組織している
5. その他（ ）

Q35：健診受診者の満足度を測定していますか（該当するもの一つに○）。

1. 定期的に調査している 2. ときどき調査している 3. 全く行っていない

Q36：最後に、スタッフが個々の医師にではなく、健診担当医全般に対して一般的に抱いているイメージを以下の言葉の中から選んでください（該当するものすべてに○）。

1. 近づきにくい
2. すべてお任せするしかない。
3. 反論できない
4. 疑問の残ることが多い。
5. 参加してもらえるだけでよい
6. 親から信頼されている。
7. 親から信頼されない
8. 指示が不適切
9. 健診の意味を理解していない
10. 親の気持ちを考えない
11. 威圧的態度
12. 協調性に欠けチームが組めない
13. ほっとする雰囲気 of 医師
14. 安心して任せられる。
15. 医師は個人差が大きい。
16. それぞれの医師に合わせるしかない。
17. 受け止め方が一方的
18. 他の職種と協働する姿勢がない。
19. リーダーとして優れている。
20. 親に安心感を与える。
21. 名声があり、看板になっている。
22. 説明がわかりやすい。
23. 子ども好きで親にも好かれる。
24. すべてにおいてスーパーバイザーになれる。
25. 思慮深く判断が的確



「新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究」班

主任研究者 高野 陽 日本子ども家庭総合研究所
分担研究者 中村 敬 大正大学人間学部人間福祉学科
分担研究者 銚之原 昌 国立大学法人鹿児島大学
分担研究者 吉田 弘道 専修大学文学部心理学科
分担研究者 福本 恵 京都府立医科大学医学部看護学科
分担研究者 堤 ちはる 日本子ども家庭総合研究所
分担研究者 野口 晴子 東洋英和女学院大学国際社会学部

調査に関する問い合わせ先

〒106-8580 港区南麻布5-6-8
日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部

齋藤 幸子

電話 03-3473-8342 (直通)

ファックス 03-3473-8408

大正大学人間学部

中 村 敬

ksan@rr.ij4u.or.jp

t_nakamura@mail.tais.ac.jp